

吉田富三 よしただ 病理學者、醫學博士。明治二十六年二月十日福島縣

生れ、昭和四十八年四月二十七日歿（九〇三一七三）。昭和二年東京帝國

大學醫學部卒。長崎醫科大學、東北帝大、東大各教授歴任。一貫して

癌研究に従事、へ吉田肉腫への発見など、學士院恩賜賞を二度受賞。

二十四年文化勳章受章。佐々木研究所・癌研究所各所長、日本醫學協

會會長。また、二十六年國語審議會委員となり、國語問題へも発言。

著書 『美と教養』（林武共著、昭和四十二年九月）『日本ソサイ

ティスセンター』『心の対話』（『生命と言葉』（昭和四十七年二月）

『小説研究新聞社』（『雑念雑記』（昭和四十七年九月）『南山堂』等。

岩下凍著『治療録』吉田喜三先生と國語問題』（昭和五十五年八月）二十

一日會刊（が）あり。

